

政策	I グローバルロジスティクス・ものづくりの港(国際産業戦略港湾)	施策推進責任者	建設部長・港営部長
施策	2 産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船会社、港湾運送事業者、荷主	意図(どういった状態にしたいのか)	充実した道路ネットワークや臨海部の企業進出用地整備により、既存産業の高度化や新展開、新たな基幹産業の創出を促進し、高い国際競争力をもった新たなものづくりの基盤を形成する港		
	サービスの対象物(何を)	道路ネットワーク(臨港道路・広域道路)や臨海部における企業進出用地(物流・産業用地)など				
展開①	臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上	名古屋港内の渋滞緩和や背後地域とのアクセス強化を図るため、臨港道路の整備や交差点改良を行い、広域幹線道路網の整備を促進します。陸上輸送の大動脈や航空輸送と接続する名古屋港の強みを活かし、更なる物流の効率性や安全性の向上をめざします。	展開②	物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充	展開③	企業立地の促進による創貨
	物流企業が進出できる用地を整備、分譲し、物流機能の集積を推進します。また、ものづくり産業の生産機能強化等の土地需要に対応するため、産業用地の拡充を促進します。			企業の立地状況やニーズ等を把握し、企業立地を推進する自治体へ名古屋港の利用促進につながるPRや情報提供を行うとともに、名古屋港管理組合から企業を対象とした情報提供を行い、企業立地の促進による創貨を図ります。		

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名(担当課名)	指標名【指標型】	26年度			27年度			28年度			28年度の状況	28年度実施事業に基づく評価結果		
			上段:指標	目標値	実績値	上段:指標	目標値	実績値	上段:指標	目標値	実績値		29年度以降の方向性	成果	コスト

【展開①】臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上

施02事101	鍋田ふ頭道路(進入)整備事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	89.5%	100.0%		100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・物流動線の充実を図るとともに、走行車両の安全性向上のため、事業完了に向けて着実に取り組む必要があるため。	
			89.5%	100.0%								27年度完了
			861,793千円	1,272,787千円								
施02事102	飛鳥ふ頭道路(改良)整備事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	56.9%	72.0%	83.7%	100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・物流動線の充実を図るとともに、走行車両の安全性向上のため、事業完了に向けて着実に取り組む必要があるため。	
			61.7%	63.6%	83.7%							29年度完了
			332,079千円	18,341千円	152,819千円							

【展開②】物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充

施02事201	西部地区(第1貯木場)都市機能等用地整備事業(管理課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	99.4%	99.5%	100.0%	100%(累計)	順調	完了	維持	維持	・給水管の布設が完了し、保管施設用地としての用地造成が完了したため。	
			99.2%	99.5%	100.0%							28年度完了
			78,925千円	11,422千円	18,605千円							
施02事202	西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業(管理課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	87.1%	99.1%	100.0%	100%(累計)	順調	完了	維持	維持	・仮設道路の整備が完了し、保管施設用地としての用地造成が完了したため。	
			85.7%	99.1%	100.0%							28年度完了
			177,773千円	272,814千円	20,140千円							
施02事203	西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却(管理課)	分譲区画の売却(全8区画)【進行管理型】	-	-	3区画	8区画(累計)	やや遅れ	継続	拡大	維持	・より着実な分譲を行っていく必要があるため。	
			-	-	2区画							30年度完了
			440千円	6,352千円	6,394千円							

【展開③】企業立地の促進による創貨

施02事301	名古屋港背後地域への企業誘致(誘致推進課)	企業立地などを目的としたセミナー等にて名古屋港のPR活動を行った回数【単年度管理型】	4回	4回	4回	4回	目標値どおり	継続	維持	維持	・企業誘致のために関係機関と連携して、より効率的で効果的なPR活動を積極的に進める必要があるため。
			4回	4回	4回						
			8,029千円	8,119千円	8,138千円						
施策コスト(合計)			1,459,039千円	1,589,835千円	206,096千円						

3. CHECK(成果目標の状況・28年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度				目標値[30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
		26年度	27年度	28年度	29年度		
企業立地面積(第1・2貯木場埋立地)	目標値	ha	-	公募開始	5.1	約20	・第1貯木場において、2.9ha(2区画)を分譲しましたが、第2貯木場の2.2ha(1区画)は相手方の債務不履行により仮契約を解除しました。
	実績	ha	整備中	(5.1) <sup>注1</sup>	2.9		
臨港道路整備延長	仮目標値 <sup>※</sup>	km	(2.8)	(3.6)	(4.3)	5.0 <sup>注2</sup>	・飛鳥ふ頭道路改良は、予定通り工事が進捗し、平成28年度目標を達成しました。
	実績	km	3.0	3.5	4.3		

注1:27年度は仮契約のため、( )にて表示しております。

注2:臨港道路整備延長は、29年度を目標年次としております。

※ 仮目標値 = 初期値(25年度) +  $\frac{\text{目標値(29年度)} - \text{初期値(25年度)}}{4\text{年間}(25\sim 29\text{年度})} \times 25\text{年度からの経過年数}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	
適正・見直しが必要	(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入) ・西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却について、平成29年度より分譲地全8区画のうち3区画を暫定的にJR東海に貸し付けることにより、当該区画の分譲を休止するため分譲区画の目標値を見直す必要があります。また、成果目標の企業立地面積(第1・2貯木場埋立地)の目標値も見直す必要があります。

4. ACTION(課題・29年度以降の取組方針)

28年度に取り組んだ内容		課題	29年度以降の取組方針
【展開①】	・飛鳥ふ頭道路(改良)整備事業は、飛鳥1号線において約480mの改良(コンクリート舗装)を行うとともに、飛鳥①、②号線において約1,060mの改良(切削オーバーレイ)を行いました。	・飛鳥ふ頭道路(改良)整備事業は、集中管理ゲートの本格運用開始後の物流動線の確保や通行車両の安全性向上のために着実に整備を行っていく必要があります。	・飛鳥ふ頭道路(改良)整備事業は、整備に必要な交付金事業の予算確保に努めながら、平成29年度の事業完了に向けて着実に整備を進めていきます。
【展開②】	・第1貯木場用地整備事業は、給水管の布設を行いました。【完了】 ・第2貯木場用地整備事業は、仮設道路の整備を行いました。【完了】 ・第1・2貯木場埋立地の売却事業は、第1貯木場の2区画を売却しました。第2貯木場の1区画については、相手方の債務不履行により仮契約を解除しました。また、第2貯木場南側の3区画については、JR東海からの依頼を受け暫定的に貸し付ける調整を行いました。	・分譲予定者が決まらなかった区画については、分譲にあたって、分譲地のニーズをより踏まえた公募条件に見直す必要があります。 ・残り6区画の内、貸し付けを行わない3区画については、公募手続きの見直しや企業ヒアリング等の結果を踏まえ、より着実な売却に向け引き続き取組を進めていきます。	
【展開③】	・愛知・名古屋国際ビジネスアクセスセンター(I-BAC)の実施する外資系企業ネットワーク懇談会や、愛知県産業立地推進協議会が実施する東京セミナー、産業立地キャラバン等への事業協力に加え、岐阜県内、長野県内及び滋賀県内の企業誘致を推進する市町村に対し、名古屋港のPR活動を実施しました。	・名古屋港及び背後地域への立地を促進するため、継続的に情報提供を行い、名古屋港の認知度を高める必要があります。また、企業の進出意欲は、社会経済情勢に影響を受けるため、企業のニーズを的確に把握するとともに、タイミングを逃さずに情報提供をする必要があります。	・関係機関と連携し、引き続き、名古屋港背後圏への企業進出意欲の向上を図るとともに、企業誘致を推進する自治体等に対する更なる名古屋港のPRや、企業進出ニーズの把握を行っていきます。